

産業廃棄物処理計画書

令和元年6月25日

島根県知事 丸山 達也 殿

提出者

住 所 島根県浜田市黒川町97番地10

氏 名 昭和産業有限会社

代表取締役 堀 脇 宏

電話番号 (0855) 22-7711

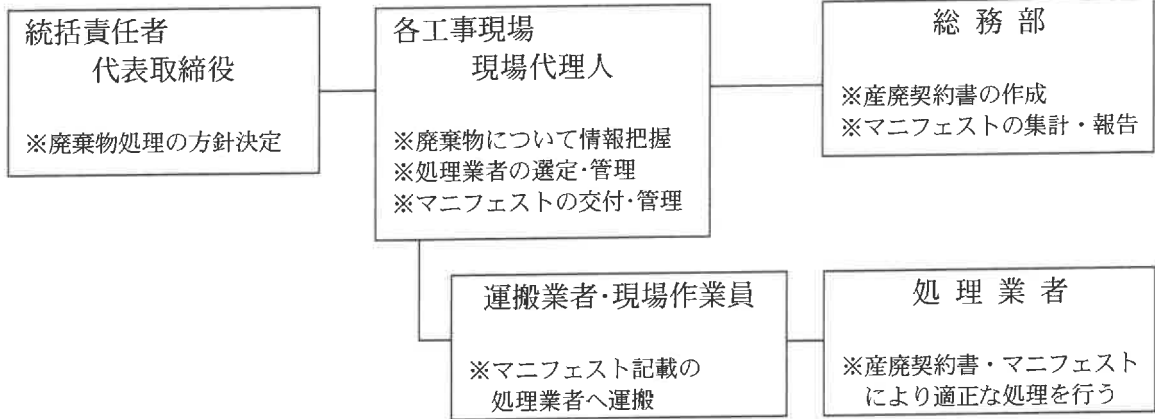
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	昭和産業有限会社
事業場の所在地	島根県浜田市黒川町97番地10
計画期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	54,333万円
③従業員数	22人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>・土木工事、建築工事及び解体工事</p> <p>がれき類(コンクリート・アスファルト塊)→再生処理業者により再資源化 (その他)→最終処分(埋立)</p> <p>繊維くず、金属くず、ガラスくず等、廃プラスチック 木くず(伐採材等)、紙くず → 再資源処理業者によりチップ化(再利用) 上記の内、再利用不可のもの → 焼却処分→埋立処理</p>

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 30 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙1のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙1のとおり		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現場において種類ごとに分別を行う
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状と同じ

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 30 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙2のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙2のとおり		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 30 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙3のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙3のとおり		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 30 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙4のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙4のとおり		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙4のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙4のとおり		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 30 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙5のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙5のとおり		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙5のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
別紙5のとおり			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
【前年度（平成30年度）実績】									
産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず	繊維くず	金属くず	がれき類	建設混合廃棄物			
排出量	19.91 t	590.80 t	0.14 t	0.06 t	1312.61 t	11.23 t	t	t	t
① 現状	<p>（これまでに実施した取組）</p> <p>特に実施していない。</p>								
【目標】									
産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず	繊維くず	金属くず	がれき類	建設混合廃棄物			
排出量	10.00 t	300.00 t	0.10 t	0.10 t	500.00 t	10.00 t	t	t	t
② 計画	<p>（今後実施する予定の取組）</p> <p>請負工事のため、現場状況および受注状況によって産業廃棄物の発生量が変動するので計画が立てにくい。 前年度は災害復旧工事施工による構造物撤去のため、がれき類が増加しましたが、本年度は復旧工事が減少する予定のため、がれき類の排出量が減少する見込みです。</p>								

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
【前年度（平成30年度）実績】									
産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず	繊維くず	金属くず	がれき類	建設混合廃棄物			
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	t	t	t
① 現状									
<p>(これまでに実施した取組)</p> <p>自ら産業廃棄物の再生利用は行っていません。</p>									
【目標】									
産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず	繊維くず	金属くず	がれき類	建設混合廃棄物			
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	t	t	t
②計画									
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>木くず・がれき類は現場内にて再生資材として利用できないか、発注者等と協議を行い再生利用に努め、排出量の削減に努める。</p>									

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（平成30年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず	繊維くず	金属くず	がれき類	建設混合廃棄物	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	t

① 現状

(これまでに実施した取組)

自ら産業廃棄物の中間処理は行っていない。

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず	繊維くず	金属くず	がれき類	建設混合廃棄物	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	t

②計画

(今後実施する予定の取組)

現状では中間処理設備の計画は考えていない。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
【前年度（平成30年度）実績】									
産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず	繊維くず	金属くず	がれき類	建設混合廃棄物			
① 現状	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	t	t
(これまでに実施した取組)									
自ら産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分は行っていない。									
【目標】									
② 計画	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず	繊維くず	金属くず	がれき類	建設混合廃棄物		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	t	t
(今後実施する予定の取組)									
産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分の計画はない。									

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（平成30年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず	繊維くず	金属くず	がれき類	建設混合廃棄物	
全処理委託量	19.91 t	590.80 t	0.14 t	0.06 t	1312.61 t	11.23 t	t
優良認定処理業者への処理委託量	1.88 t	58.76 t	0.14 t	0.06 t	38.97 t	11.23 t	t
再生利用業者への処理委託量	0.00 t	590.80 t	0.00 t	0.06 t	1312.61 t	0.00 t	t
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	t

① 現状

(これまでに実施した取組)

近隣の処理業者を選び、その中から再生利用処理できる処理業者を優先的に選定する。

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず	繊維くず	金属くず	がれき類	建設混合廃棄物	
全処理委託量	10.00 t	300.00 t	0.10 t	0.10 t	500.00 t	10.00 t	t
優良認定処理業者への処理委託量	1.00 t	50.00 t	0.10 t	0.10 t	10.00 t	10.00 t	t
再生利用業者への処理委託量	0.00 t	300.00 t	0.00 t	0.10 t	500.00 t	0.00 t	t
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	t

② 計画

(今後実施する予定の取組)

再生利用処理できる処理業者を優先的に選定する。